

## 脚部直上でのオフセット

### 22.5° のオフセット配管

#### KL22.5

HASS206 では、特殊継手排水システムを含む伸頂通気方式では、「原則として排水立て管にオフセットを設けてはならない」と規定されています。特に脚部継手の直上に 45° を超えるオフセットが設けられると、下層階の正圧が高くなりトラップ封水跳ね出しの危険が高まります。(2000.7.31 号: [www.kojima-core.co.jp/20000731report.html](http://www.kojima-core.co.jp/20000731report.html))

今回は脚部継手の直上に 22.5° のオフセットを設けた(となった)場合の影響について、当社排水実験タワーでの実験結果を報告します。

### 実験条件

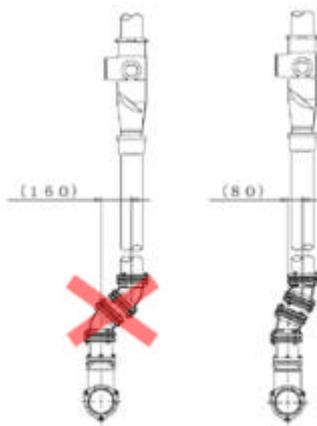
供試継手	CP60K100 × 80-65(L)
排水立て管径	100A
オフセット位置	脚部継手直上で / 22.5° オフセット & 45° オフセット
排水横主管径	125A (LJ-K100 × 125)
横主管形態	ストレート 5m
排水負荷	定流量 5.0[L/s] (9F: 2.5[L/s]、8F: 2.5[L/s])
試験方法	HASS218「集合住宅の排水立て管システムの排水能力試験法」に準拠

#### KL22.5 new!

品番	KL22.5	
サイズ	100A	80A
仕様図 DL	KL22.5100.pdf	KL22.580.pdf

### 実験結果

- CP排水システム(HP・KJ8・KSTとも同様)には、原則としてオフセットを設けないで下さい。
- 脚部継手直上で 45° オフセットを設ける場合には、**最新版の技術資料**に記載の通り、1サイズ拡径したのちオフセット配管として下さい。
- オフセット部に排水があたり、排水騒音発生の一因となります。**オフセット部を設ける場合には、適切な騒音対策を施して下さい。**



禁止配管



写真は KL22.5 を使用したオフセット

- 脚部継手直上で KL22.5° を使用し、拡径しないで 22.5° オフセットを設ける場合の、設計用許容流量は以下の通りです。負荷流量  $Q_L < 許容流量 Q_P$  を満足する範囲内でご使用下さい。

45° オフセット配管は禁止!

45° オフセット配管は禁止!

CP排水システムで1カ所 22.5° オフセット配管となった場合の許容流量

CP-Joint 適応階数	設計用許容流量(L/s)
10F	5.5
15F	5.2
20F	4.9
25F	4.7
30F	4.2

#### ご注意

横主管の配管形態により排水性能は低下します。配管形態ごとの低減係数については、**最新版の技術資料**でご確認下さい。

#### 関連リンク

2002年7月15日号 他

